

第45回沖縄地方交通審議会船員部会 議事録

日 時 平成24年6月22日（金）14時00分

場 所 沖縄総合事務局 1F 「共用会議室」

出 席 者

公 益 委 員	儀部委員、春田委員
労働者委員	漢那委員、梅田委員、江川委員
使用者委員	大城委員、
事 務 局	宮本海事振興調整官、船舶船員課（伊良波、宮良、金城）

議事次第

○開 会

○議 題

1. 第44回船員部会の議事録承認について
2. 管内の雇用状況等について
3. 沖縄若年内航船員確保推進事業の取組みについて
4. 意見交換

○閉 会

議事概要

事務局（金城）

それでは、定刻でございますので、会議を始めさせていただきます。

本日は、公益委員2名、労働者委員3名、使用者委員1名、が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定による定足数を満たしており、有効に成立していることをご報告いたします。

本日は、宮里部会長が出張により欠席されているので、儀部委員に部会長代理をお願いいたします。

事務局（金城）

それでは、配付資料の確認をさせていただきます。

（配付資料の確認）

よろしいでしょうか。

それでは、儀部部会長代理、宜しくお願いいたします。

儀部部会長代理

それでは、はじめに第44回船員部会の議事録の承認についてお諮りします。

お手元に配付されております議事録をご確認ください。

第44回船員部会議事録を原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

（異議なし）

儀部部会長代理

異議なしということで、承認されたものといたします。

続きまして、議題2の「管内の雇用状況等」について、事務局にご説明をお願いします。

事務局（宮良）

それでは、平成24年5月分の管内雇用等状況の概要について報告いたします。

1頁の「船員職業紹介実績等一覧表」をご覧ください。

●求人状況について

新規求人数は0名でございました。

前月は1名でしたので、1名の減少です。

また、前年同月2名でしたので、2名の減少です。

月間有効求人数は2名（商船等2名・漁船0名）でございました。

前月も前年同月も7名でしたので、5名の減少となっています。

月末未済求人数は0名でございました。

●求職状況について

新規求職数は7名（商船等7名・漁船0名）でございました。

前月、前年同月ともに13名でしたので、6名の減少となっております。
月間有効求職数は23名（商船等22名・漁船1名）でございました。
前月は28名でしたので、5名の減少となっております。
前年同月は35名でしたので、12名の減少となっております。
月末未済求職数は14名でございました。

●成立状況について

5月の成立は、管外に1名となっております。
作業船にクレーン士として、50代男性が1名が採用されました。

●求人倍率について

5月の月間有効求人倍率は、0.09倍でございました。
前月は0.25倍でしたので0.16ポイントの減少となっております。
前年同月は0.20倍でしたので、0.11ポイントの減少となっております。

●新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

5月の新規求職者7名の内訳につきましてご説明致します。
退職の理由としては、船舶所有者都合が2名、雇用期間満了が1名、自己都合が3名でした。
また、海上勤務中で転職を希望の方が1名となっております。
新規求職者が所属していた会社所在地につきましては、管内が3名、管外が4名となっております。

●失業等給付支給内訳について

基本手当の初回受給者は4名でした。
受給者実人員は9名、支給延べ件数が13件、基本手当支給金額は1,926,135円となっております。
また、再就職手当が2件で981,618円の支給がありましたので、合計 2,907,753円の支給額でした。
以上でございます。

儀部部会長代理

ありがとうございました。
ただいまのご説明につきまして、何か質問等ございますでしょうか。

漢那委員

2ページ目の新規求職者の退職理由の欄についてですが、石垣にありますH海運の職員のうち、海上7名、陸上1名の職員が会社から解雇通告を受けて退職となりました。
この件については、沖縄総合事務局運輸部船舶船員課と八重山運輸事務所、八重山公共職業安定所が合同で6月11日に解雇通告を受けた職員に対して失業保険の説明会を行いました。
会社はまだ破産ということにはなっていないそうです。
こういった件についても新規求職者の退職理由の欄に記載されてくるんですか。

宮良補佐

そうです。今回お配りしております『管内職業紹介実績等一覧表』は平成24年5月分にな

っておりますので記載されていませんが、H海運の件につきましては来月の一覧表に記載されます。

漢那委員

H海運の状況報告も含めて質問させていただきました。

儀部部会長代理

他に質問等がないようですので、

続きまして議題3. の沖縄若年内航船員確保推進事業の取組みについての報告を事務局からお願いします。

宮良補佐

それでは、配付資料の「沖縄若年内航船員確保推進事業『海事セミナー』の実施について」をご覧くださいながら説明させていただきます。

沖縄若年内航船員確保推進協議会、事務局は私ども内閣府沖縄総合事務局運輸部になっております。この協議会では、海事思想の普及・啓発活動を含め、多数の関係事業者団体等による海事産業の人材の確保・育成に関する取組みについて、連携の強化及び叡智の集結を図り、若年層の内航船員の確保を推進しております。

今年度初めの取組みと致しましては進路段階にある中学生において、影響力を有する中学校の進路指導担当者若しくはキャリア教育担当者等の教育関係者を対象に海事産業や船員という職業への認知度向上を目的とした「海事セミナー」を開催することとしております。

海事セミナーのプログラムとしましては、当局の海技試験官による「船員の仕事、船員になるための資格」についての説明。その後、那覇新港に移動しまして琉球海運(株)所有の貨物船『わかなつ』の見学。その後、沖縄総合事務局の会議室に戻りまして沖縄水産高校教諭による「沖縄水産高校の紹介」。のプログラムを予定しております。

今回の教育関係者を対象にした「海事セミナー」は、沖縄若年内航船員確保推進協議会においても初めての事業取組みとなりますので、まず沖縄県教育庁へ「海事セミナー」の趣旨を説明しまして、参加者公募方法についてご教示いただきました。

それを踏まえて、各市町村教育委員会へ訪問し、同じく海事セミナーの趣旨を説明させていただくこととなりました。

その後、各市町村教育委員会へセミナー参加者公募を依頼し、各市町村教育委員会から管下の中学校へセミナーの開催の周知、併せて参加者募集についてご協力していただき、参加者募集をしているところでございます。

今回の「海事セミナー」が終了しましたら、次回取組みとしまして秋頃には中学生を対象とした、沖縄水産高校での「体験学習」を予定しており、今回の「海事セミナー」に参加していただいた中学校からの生徒が参加されることを期待しております。

以上でございます。

儀部部会長代理

ありがとうございました。ただ今の御説明につきまして、何か質問等ございますでしょうか。

漢那委員

今、宮良補佐から説明がありました沖縄若年内航船員確保推進協議会についての質問です。前回の船員部会でも江川委員から沖縄水産高校と南部工業高校との統合に反対する総決起大会

の開催について話がありましたが、県教育庁が沖縄水産高校と南部工業高校との統合を計画しておりまして、その計画の中で沖縄水産高校の海洋技術科をなくそうとしています。

県教育庁へ若年内航船員確保推進協議会の事業の説明をした際に県教育庁の考えはどのようなものでしたか。というのは、今回の協議会の事業と教育庁の考えている統合計画は逆行している話です。沖縄水産高校が統合してしまい海洋技術科がなくなれば、船員を養成することができなくなる。そういった中で、若年船員を増やす事業取組について説明がありましたか。

伊良波課長

県教育庁へは今回の事業取組みの趣旨を説明しに行きましたが、担当者レベルの話合いだったので、統合問題についての話はできませんでした。

漢那委員

私も若年内航船員確保推進協議会の委員ですが、県教育庁の方も協議会の委員に入っていますよね。

伊良波課長

はい。県教育庁の県立学校教育課長が委員に入っております。

漢那委員

そういった県教育庁の方もおられるなかで、やっていることが逆行している。

事務局である船舶船員課においても、船員が不足するというのは大きな問題だと思いますので、できれば統合に反対する啓蒙活動等を一緒に協力してもらいたい。

春田委員

統合してしまうと、県内で水産高校はなくなってしまうんですか。

漢那委員

宮古総合実業高校があります。宮古についても統合して宮古総合実業高校になってまして、実質船員のなりてはほとんどいなくなっています。

沖縄水産高校の海洋技術科を卒業後、専攻科へ進学し海技士免状を取得するという流れになっています。統合することによって、海洋技術科を水産科へ変更して色々な学科の教育内容を盛り込んでいこうとしているので、集中的に教育できるよう今のまま海洋技術科を残してほしいと要望しています。

春田委員

産業政策を考えると、漁業、工業、農業等バランスよく教育していかないといけない。気付いたときにはなり手がなくなってしまう。

漢那委員

船員を養成する学科を残すことが重要だと考えております。

梅田委員

海事セミナーの対象者で、キャリア教育担当者というのはどういう方々なんですか。

伊良波課長

当初は、対象者を進路指導担当者としていましたが、県教育庁や各市長村教育委員会を訪問していくなかで、中学校にキャリア教育担当の職員がいることを知りました。キャリア教育とは仕事について学ぶことにより勤労観、職業観を身につける教育です。将来の仕事の事を見据えて生徒を指導する職員です。

梅田委員

キャリア教育担当者の方も中学校の先生ですか。

伊良波課長

そうです。

春田委員

現在は大学でも、キャリア教育担当の教員を配置しつつあります。高校も中学と同様にキャリア教育担当の教員がいます。将来の職業観等についてを教育していくことで、フリーターやニート等の若年失業者の対策として配置されていますので、キャリア教育担当者というのは広くいろんな分野の職業についての知識を得ないといけないことは間違いないです。

海事セミナー等の取組みによって、船員という職業に関する認知度の向上はできたとしても、船員の供給源がなくなりかねないという現状は困りますね。

ただ、一般論として船員の仕事についてアピールすることは良いことだと思います。

儀部部会長代理

他にこの取組みについて質問等ございませんか。ないようですので、

それでは議題4.の意見交換に移りますが沖縄水産高校の統合計画等も含めて何かございますでしょうか。

漢那委員

沖縄県のカボタージュの規制緩和の問題についてですが、国が公募した「構造改革特区」要するに、カボタージュの規制緩和を県が国に対して、再検討、再々検討と求めています。国土交通省、沖縄総合事務局も規制緩和については、反対理由を示してずっと反対をしているところですが、県はこの規制緩和を推進しています。

2年前に、那覇市とうるま市の自由貿易区域で立地企業の貨物輸送を対象に一部規制緩和を認めているんですが、その区域に関しても「国内船社が所有する外国籍船」としたため、船の大きさに見合った貨物量は集まらず、1隻も運航していません。大臣特区として船舶法第3条を緩和しているんですが、その部分に対してもまだ推進もうまくされていないし、実績も出ていません。そのなかで県は石油輸送問題からまたカボタージュの規制緩和を要望しています。

なぜ、我々海員組合も規制緩和を反対しているのかというと、この規制緩和をすることによって日本人船員がいなくなってしまうんです。雇用や経済に関係することで、日本の安全にまで関わってくる甚大な影響を与えるのではないかと懸念しています。

国土交通省が反対しているので、沖縄総合事務局も地元として県に対して反対の声をあげてほしい。逆に県から沖縄総合事務局に対して規制緩和の要望はないですか。

伊良波課長

カボタージュについては担当部署が別になりますので、申し訳ないですがその件の情報につ

いては今はありません。

漢那委員

できれば沖縄総合事務局についても反対運動をしてほしい。沖縄からカボタージュの規制緩和を広めたくないという思いがあります。沖縄は米軍基地があるからといって何でもできると思われてしまう。

今日は欠席されていますが、山城委員の規制緩和反対の記事が新聞に載っていましたが、県は事業者のことをまったく考えておらず、利益のことしか考えていない。

儀部部会長代理

それでは、事務局にはカボタージュの担当部署を確認してもらい、次回の部会で情報提供をお願いします。

他に何かございませんか。

漢那委員

7月18日に東京（海員ビル）に於いて高速道路の問題で、全日本海員組合の総決起集会が開催されます。全国から会員を招集して千名規模で行う予定です。

江川委員

FOC キャンペーンの実施の一環として、7月10日から12日までの三日間で那覇新港・浦添周辺で、外国船舶の査察を行いますので周知させていただきます。

漢那委員

沖縄支部担当の労働協約改訂交渉、要するに春闘ですが、ボーナス交渉についてはまだですが、沖縄については全社解決したということで報告させていただきます。

儀部部会長代理

沖縄水産高校の統合問題についてですが、前回の議事録にあります総決起大会はどうなったのですか。反応はあったんですか。

漢那委員

総決起大会は新聞等をとおして世論に訴えかけることも目的だったのですが、それ以外にも署名運動をしております。県議会議長が新しく変わりますので、今後も反対行動をしていく考えです。大臣に対しても統合反対の話をあげていくつもりです。県の教育委員長は県議会で統合反対が議決したのにもかかわらず統合の計画を進めている。6月7日に統合の計画ができたということで、全日本海員組合と業界に対して説明会をしたいということで来ていましたが、我々は統合については絶対に反対だと言って帰しました。

儀部部会長代理

そのほかに何かございますでしょうか。なければ事務局から連絡事項がありますのでお願いします。

事務局（金城）

次回の船員部会は7月27日（金）

場所と時間は本日と同じ 1F 共用会議室で 14:00～ 開催いたします。

儀部部会長代理

次回は海事セミナーの後ですから、事務局から御報告をお願いします。

それでは本日の部会はこれで終了します。

(配付資料)

1. 第44回船員部会の議事録（案）
2. 管内職業紹介実績等一覧表（平成24年5月分）
3. 沖縄若年内航船員確保推進事業『海事セミナー』の実施について